

2025年10月29日  
一般社団法人 漁業情報サービスセンター

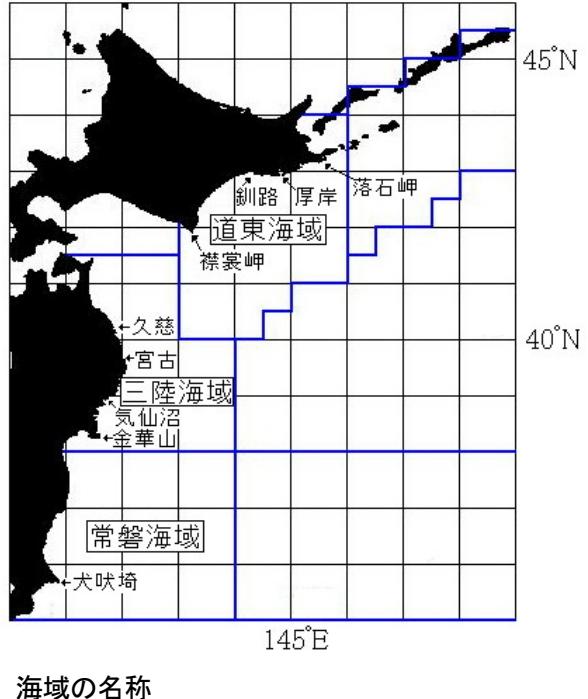
## 2025年度 第6回サンマ中短期漁況予報

— 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(2025年11月上旬～12月中旬) のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、11月上旬は断続的な来遊となる。
- ・三陸海域では、11月上旬は低位水準で増加する。
- ・常磐海域では、11月上旬は低位水準で増加する。



### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部

担当：渡邊、源

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

# 2025年度 第6回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2025年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は減少し、11月上～中旬は断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

道東海域では、11月上旬は襟裳岬沖に漁場が形成される。11月中旬以降は、漁場は形成されない。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

11月上旬は、低位水準で増加する。11月中旬は低位水準で推移し、11月下旬～12月上旬は低位水準で減少する。12月中旬は、断続的な来遊となる。

#### (2) 漁場

11月上～中旬は三陸北部～南部に、11月下旬～12月中旬は三陸南部に漁場が形成される。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

11月上～中旬は、低位水準で増加する。11月下旬は低位水準で推移し、12月上旬は低位水準で減少する。12月中旬は、断続的な来遊となる。

#### (2) 漁場

11月上旬は常磐北部に、11月中旬～12月中旬は常磐北部～南部に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量	— →	— →			
	動向	断続的	断続的			
	漁 場	襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位増加	低位水準	低位減少	低位減少	断続的
	漁 場	三陸北部 ～南部	三陸北部 ～南部	三陸南部	三陸南部	三陸南部
常磐海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位増加	低位増加	低位水準	低位減少	断続的
	漁 場	常磐北部	常磐北部 ～南部	常磐北部 ～南部	常磐北部 ～南部	常磐北部 ～南部

### 3. 漁況の経過概要（10月中旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、10月上旬並みで、前年を上回った。日別CPUEから判断すると、来遊量は徐々に減少した。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石南南東150～190海里、霧多布南60海里、襟裳岬東南東50海里～南東70海里に漁場が形成された。落石南南東150～190海里の漁場水温17～20°Cでは、大型船1～20隻程度と小型船が操業し、大型船で最高26トン、平均4.3トン漁獲した。霧多布南60海里の漁場水温12°Cでは、10月14日夜に小型船数隻操業し、数トン漁獲した。襟裳岬東南東50海里～南東70海里の漁場水温15°Cでは、10月12日夜に大型船2隻程度と小型船数隻操業し、大型船で平均0.4トン漁獲した。

道東海域より南東側である落石南東210～260海里の漁場水温13～19°Cでは、大型船5～30隻程度と小型船が操業し、大型船で最高で92トン、平均26.8トン漁獲した。また花咲港南東沖の漁場水温16～19°Cでは、大型船と小型船が操業した。

##### (3) 魚体

道東海域では、体長24～28cmと30～31cmが主体、体重60～130g台が主体であった。道東海域より南東側である落石南東210～260海里では、体長23～31cmが主体、体重50～130g台が主体であった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、三陸海域における来遊量は、10月上旬を上回り、前年を上回った。日別CPUEから判断すると、来遊量は期を通じて少なかった。

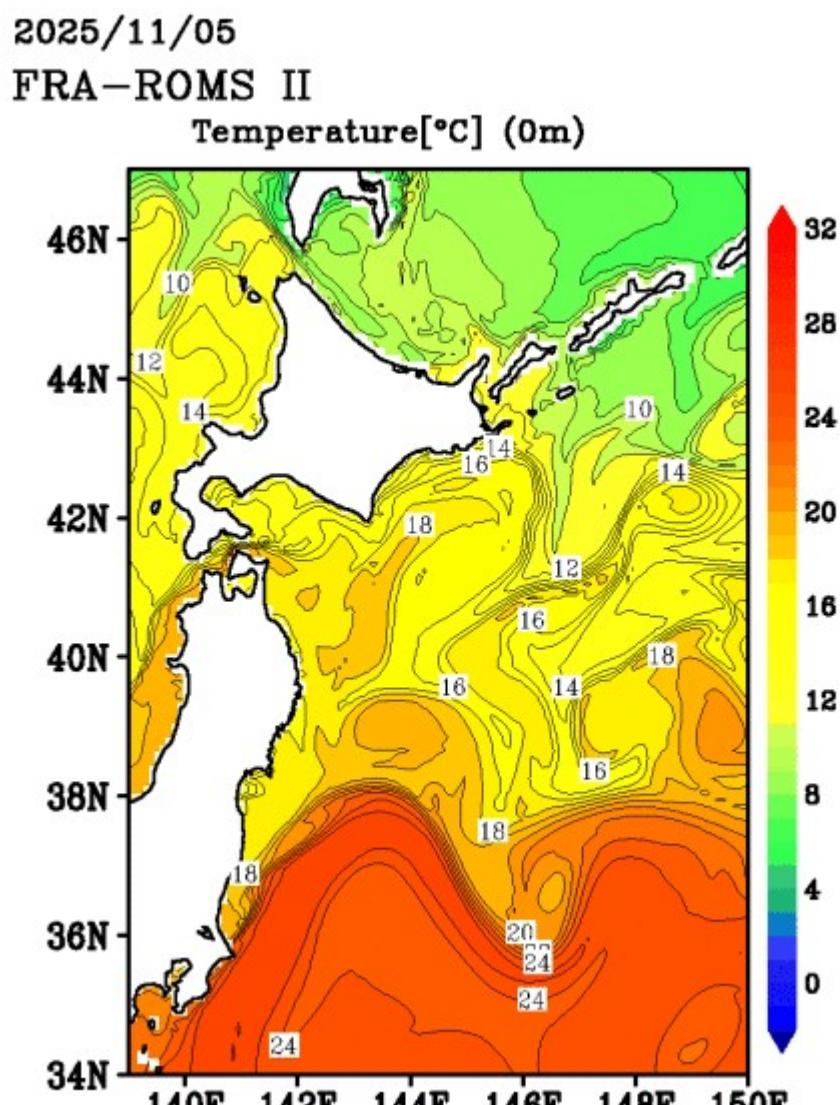
##### (2) 漁場

三陸海域では、久慈東70海里～宮古東30～50海里に漁場が形成された。久慈東70海里～宮古東30～50海里の漁場水温17～20°Cでは、大型船5隻程度と小型船数隻操業し、大型船で最高14トン、平均4.6トン漁獲した。

##### (3) 魚体

三陸海域では、体長29～31cmが主体、体重80～120g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

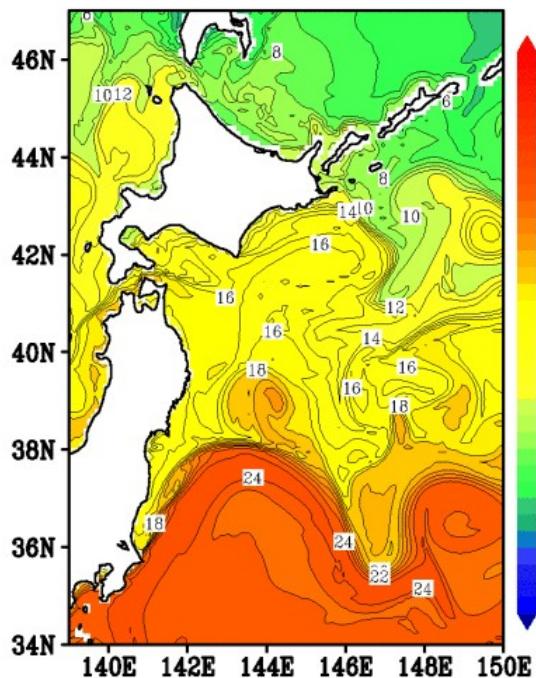


海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温（2025年11月5日）  
2025年10月27日にHPより取得した

2025/11/15

FRA-ROMS II

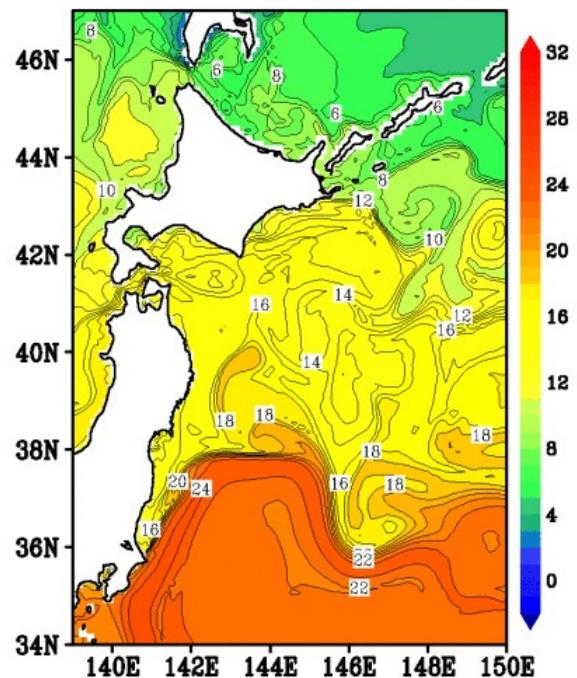
Temperature[°C] (0m)



2025/11/25

FRA-ROMS II

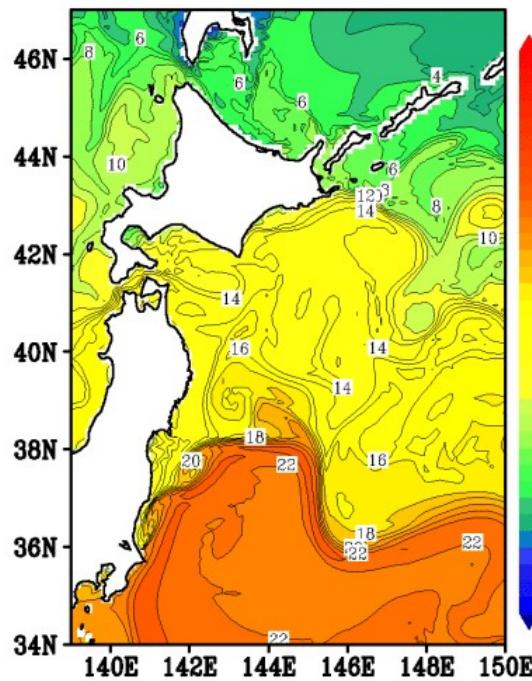
Temperature[°C] (0m)



2025/12/05

FRA-ROMS II

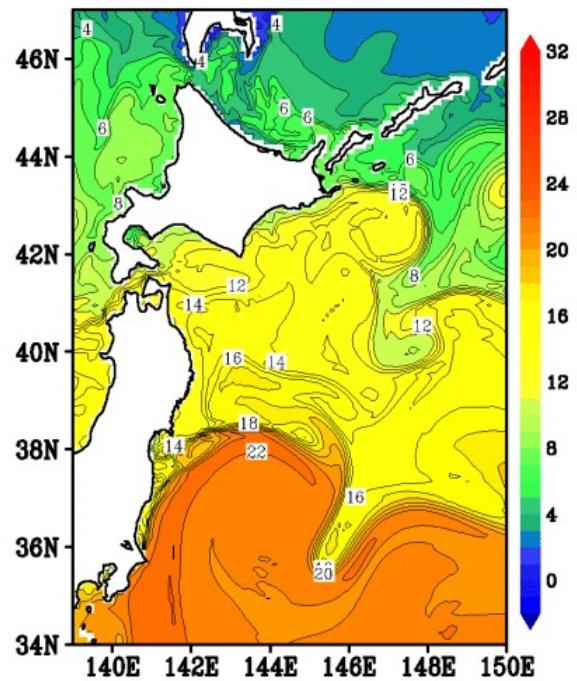
Temperature[°C] (0m)



2025/12/15

FRA-ROMS II

Temperature[°C] (0m)



海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温

2025年11月15日(左上)、11月25日(右上)、12月5日(左下)、12月15日(右下)

2025年10月27日にHPより取得した

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場	茨城県水産試験場
岩手県水産技術センター	千葉県水産総合研究センター
宮城県水産技術総合センター	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所
福島県水産海洋研究センター	(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター